

## 「生き抜く力」を育む保小中一貫教育

### 来年度から高校入試が変わります

3学期になり、子どもたちはそれぞれ進級や卒業を意識しながら学校生活を送ることが増えてきます。中でも高校入試を控えた多くの中学3年生にとっては、希望する進路の実現に向けて大切な時期となります。体調に気をつけ、がんばってほしいと思います。



さて、新学習指導要領や大学入試制度改革等を踏まえ、今の中学2年生が受験する高校入試から新しい入学者選抜が行われることが県教育委員会から発表されました。変更点は以下の2つです。

#### 1. 推薦入学者選抜が廃止され、特色入学者選抜が導入されます。

各高校が、「目指す教育」に加えて「求める生徒像」を示します。中学生はこれらを判断材料として、志望校を決定します。

検査問題等については、各高校がそれぞれの

「求める生徒像」に合わせて作成し、面接または口頭試問(全員)に加え、学力検査、作文、小論文、プレゼンテーション、実技検査(英語によるスピーキングテスト等含む)のうち、1つ以上が実施されます。これらの検査や志望理由書等を通して、「目的意識」「学びに向かう力」「思考力・判断力・表現力等」が総合的に評価されます。

#### 2. 一般入学者選抜の英語の学力検査において、英語の聞き取り検査時間が延長されます。

60分の検査時間において、聞き取り検査が10分から15分程度に延長され、英語で話す場面や状況を想定した質問に対して自分の考えを英文で解答する問題が出題され、「聞いて書く力」が評価されます。

高校入試においても、英語力や考えを伝える力など社会の変化に対応していくための力が求められていると言えます。園や学校では、こうした力を高めるための取り組みをさらに充実させていきます。

## 地域コーディネーターだより

新しい年になり1か月が経ちました。日南小・中学校の子ども達も、自分の目標に向かって進んでいることなのでしょう。成長していく姿を見ることができるとは本当に嬉しいものです。保護者の皆さんも、日々成長していく我が子をたくましく感じている事でしょう。児童、生徒の皆さん、たくさんの人との出会いを大切に新しいことに挑戦していきましょう。これからも、私達CSサポーターは皆さんを応援します。

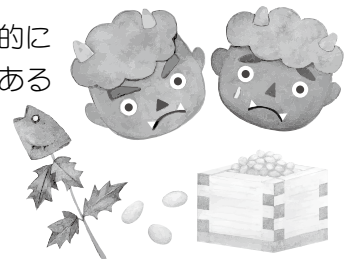
さて、コミュニティ・スクールが本格的にス

タートしました。人と人との関わりの基本は「コミュニケーション」をとることだと思っています。今はパソコンなどを介しての会議、研修等が主流となっていますが、顔を合わせた対面方式の重要性も指摘されるようになりました。スポーツ・文化・音楽などの体験はパソコン相手ではできません。相手の顔が見えるからこそ楽しいのです。私自身も、もっと相手を見て語り合いたいと思っています。人と人は心と心で繋がっています。

### クイズ 節分編

家族での楽しみ、節分では豆まきもその一つといえると思います。一般的に言われている節分の食べ物といえば大豆や恵方巻ですが、イワシも謂れのある食べ物だそうです。なぜイワシを食べると良いとされているのでしょうか。

- ①群れで泳ぐため仲間意識が高い
- ②焼くと煙が出やすいので鬼が近寄らない
- ③稚魚(ちりめんなど)は春先が旬であるため



※前号の答え ①昭和30年頃

連絡先 教育委員会 82-1118 コーディネーター 荒金 敏文 携帯 080-5232-7712

